

「薬々連携」委員会（第2回）議事録

1) 日時 平成14年5月29日（水）18:30～20:00

場所 八王子薬剤センター駅前薬局 2F会議室 八王子市旭町12-6

出席 都病薬多摩支部委員 順不同 明石（副委員長）、阿部・阪本・前田・吉尾先生  
都薬南多摩支部委員 順不同 戸塚（委員長）、下平・根岸・堀・茂木・山田先生  
地区連絡（協）委員 等委員

2) 議事

(1) 委員会の位置付け（確認）

イ. 南多摩地区連絡（協）の連携分科会という位置付けには無理があるが、何も無いところから始めるのでまずはこの形でスタートし、将来的には近隣他支部へも広がるような組織にしていきたい。

現在の南多摩地区連絡（協）は日医大永山病院及び南部地域病院を対象とした薬々連携であり、薬々連携（委）の拡大発展を期待している。

ロ. 薬々連携（委）会則は当面特には作らず、南多摩地区連絡（協）の会則をそのまま準用することとしたい。

出席者の発言

前田：まず南多摩地区で始めて、それを広げていくのが良い。

明石：都病薬の考え方としてもスタートはこれで良い。

吉尾：最終的に多摩地区の広い地域となることを望む。

山田：院外処方箋を出している日野・稲城市立病院薬剤師に是非参加して欲しい。

明石：会則については南多摩地区連絡（協）の準用としたい。

(2) 運営ルール（合意）

イ. 今後いくつもテーマが出てきたときは、委員を班長とし実務者によるワーキンググループを組織して意見集約する様にしたい。

ロ. 委員会の開催時間は都病薬、都薬とも昼間の開催は無理なので第二金曜18:30～20:00の年4回とする。ワーキンググループは平日の勤務時間後とする。

ロ. 毎回、輪番制で議事録を取り、保管する。

出席者の発言

根岸：日中は出られない。

吉尾：仕事のあと平日18：30からなら出られる。

山田：従業員（実務者）を18：30に出すのは無理、もう少し遅い時間になる。

### （3）経費の分担（合意）

経費は都病薬と都薬で折半とする。

イ. 都病薬は本部と相談し支部活動費（20万）から幾ら出せるか検討する。10万から15万位を考えている。（薬々連携としての別枠予算はない。）

ロ. 都薬3支部は都病薬拠出金と同額を負担する。尚、南多摩地区連絡（協会）費とは別途拠出とする。

両者の合計金額を年間経費とする。1年目は無理をしない範囲で出し合い、足りない時は臨時会費を集める。

出席者の発言

戸塚：都薬として各支部から5万ずつ計15万を考えている。

明石：病薬では支部活動費として20万/年ある。モデル事業なので15万/年で検討している。

茂木：都薬本部から補助金を頂く方法があるが、自由な発足としたい。

根岸：会議の場所が確保できれば良い。両支部10万、計20万の予算に納めてはどうか。

### （4）会員への広報

都薬は支部毎に会員への連絡体制が出来ている。都病薬は支部内に確立した連絡網が無く、都病薬本部を通じて行うことになる。早急に都病薬支部内で構築したい。（継続）

出席者の発言

明石：支部制にしたばかりであり、病薬ではこれからネットワークを構築する。

吉尾：連絡網は今後の病薬の課題である。

### （5）連携テーマ

等委員より共通のイメージを持つために4つの例が出された。

①職能啓発 研修会・勉強会他

②調剤補完情報

③院外処方箋に関する内外調整

#### ④関連事業実現性の検討

各委員は次回までに薬々双方の抱える問題点を下平先生にメールで送り、下平先生がフロッピーにまとめ事務局へ送る。事務局はそれをもとに次回委員会の叩き台を作る。

#### 出席者の発言

下平：①、③がまず取り組むべきテーマで、②は先の話であろう。

根岸：本日は今後このようなテーマがあるという共通認識を得たことで良いと思う。

明石：薬々双方の抱えている問題点を次回出し合って、薬々連携（委）で何が出来るか検討したい。

#### 次回委員会開催

日時 平成14年7月12日（金）18：30から

場所 八王子薬剤センター駅前薬局2F会議室

出席 委員全員

議案 1、連携テーマ

2、会費

3、委員の異動

注) 会食予定なし。